

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	三浦 亜紀		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは (カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。</li> <li>2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法 (論理療法) を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。</li> <li>3. 対クライアント以外の援助技術 (訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等) について理解できる。</li> <li>4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。</li> <li>5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>評価のもとになるレポート課題として、演習授業で体験したカウンセリングにおける人間関係 (ロールプレイング) を通し、自身の行動やものの見方に変化があったかについて、まとめる。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書は、特に指定なし。 参考図書は、講義中に紹介します。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。</li> <li>2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法 (論理療法) を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。</li> <li>3. 対クライアント以外の援助技術 (訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等) について理解できる。</li> <li>4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。</li> <li>5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。</li> </ol> <p>○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加 (出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>カウンセリング体験を通し、カウンセラー役とクライアント役を行うことで、他者との関わり方や態度を体験し、心の支援者としてどのように行動し対処すべきかについて、ご自身と向き合ってもらいたいです。体験学習での学びから、ご自身の在り方や社会への関わり方を学んでください。</p>		
13. オフィスアワー	<p>初回講義時にお知らせします。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	精神分析理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第2回	来談者中心療法理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第3回	行動療法理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第4回	認知行動療法理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第5回	遊戯療法理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。

第6回	芸術療法理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第7回	カウンセリング理論と技法	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第8回	ロールプレイの説明と記録の書き方	事前学習	シラバスを確認し、授業課題をインターネット情報ではなく、書籍から調べて引用し、引用文献の記載を行う。
		事後学習	授業内容を復習する。
第9回	ロールプレイ体験と記録	事前学習	ロールプレイの役割を想定する。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第10回	ロールプレイ体験と記録	事前学習	ロールプレイの役割を想定する。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第11回	自己紹介と他者紹介、会話からの推測、表情と言葉の矛盾ほか	事前学習	授業内容について考える。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第12回	訪問支援、地域支援、関係者への支援について	事前学習	授業内容について考える。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第13回	ロールプレイ体験と記録	事前学習	ロールプレイの役割を想定する。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第14回	ロールプレイ体験と記録	事前学習	ロールプレイの役割を想定する。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。
第15回	まとめ、ロールプレイ体験を振り返る	事前学習	授業内容についてまとめる。
		事後学習	授業内容をふり返り、理解を深める。